

木簡

令和7年度 まいぶん講演会



鵜沼の古代集落跡
(各務原市 鵜沼古市場遺跡 C 地区)

から読み解く 古代各務郡

藤原宮跡で出土した木簡

奈良県の藤原宮跡からは、己亥年 文武天皇3（699）の年紀を持つ各務評（郡）に関する木簡が出土しています。各務郡の存在を示す最も古い資料の一つであり、また、その後の資料において里名として確認できない「汙奴麻里（うぬまり）」を伝える貴重な資料もあります。たった1点の木簡ですが、ここから古代の各務郡について多くを知ることができます。本講座ではこの木簡を読み解きながら、古代の各務郡を中心に地方制度についてもみなさんと一緒に学んでいきたいと思います。

汙奴麻里 五百木ア加西俵

己亥年九月三野国各牟

日時 令和8年2月28日（土）

13:30～15:00

場所 各務原市立中央図書館4階 多目的ホール

講師 近藤大典（岐阜県博物館）

募集人数 140人（先着順）

受講料 300円（できるだけお釣りのないようご用意下さい。）

申込方法 2月3日（火）午前9時から先着順で受け付けます。

お電話またはLoGo フォームからお申し込みください。

058-383-1123



LoGo フォームは
こちらから